

[氏名] 高田 朝子



[現職] 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科教授

[職歴] モルガン・スタンレー証券会社勤務を経て高千穂大学経営学部専任講師（2002年4月より2003年3月）同大学助教授（2003年4月より—2007年3月 2007年より職名改編により准教授）

[社会的活動]

経営情報学会 理事（2010年より）

経営情報学会学会誌 編集委員（2006年より）

SGS ジャパン株式会社 経営諮問委員（2004年より）

財団法人政策科学研究所「科学技術と人間の諸活動に関する研究会」委員（2004年-2005年）

[所属団体]

組織学会、経営情報学会、経営行動科学学会、産業・組織心理会、日本リスク研究学会

[学歴]

立教大学経済学部経済学科卒業

Thunderbird 国際経営大学院 (American Graduate School of International Management)

修士課程修了 国際経営学修士 MIM

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了 経営学修士 MBA

慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程修了 博士（経営学）

[研究歴]

ミドルの活性化とネットワーキング、特に女性ミドルの有機的な活用

[主な著作]

『人脈のできる人—一人は誰のために一肌脱ぐのか』（単著）慶應義塾大学出版会 2010年8月

『危機対応のエフィカシーマネジメント—チーム効力感がカギを握る—』（単著）慶應義塾大学出版会 2003年1月

『高齢者の生活とリタイアメント・コミュニティ』（共著）創成社 2006年12月

高田朝子 鹿住倫世 恩蔵三穂 長谷川万希子「高齢者の生活とリタイアメント・コミュニティ」 創成社 2006年12月

石田英夫 星野裕志 編 『ケースメソッド入門』「CASE8 聖路加国際病院—地下鉄サリン事件への対応」 慶應義塾大学出版会 2006年3月

慶應ビジネス・スクール編 高木晴夫監修 「第10章 組織文化と経営」「第12章 ケースおよび解説（分担）」『ビジネススクール・テキスト 組織マネジメント戦略』 有斐閣 2005年5月

[研究業績・社会活動等報告書]

1. 研究業績

著書

『人脈のできる人一人は誰のために一肌脱ぐのか』(単著)慶應義塾大学出版会 2010年8月

『ビジネススクール・テキスト 組織マネジメント戦略』(慶應義塾大学ビジネススクール編) 有斐閣 (分担)2005年5月

『ケースメソッド入門』慶應義塾大学出版会 (石田英夫 星野裕志編 分担執筆) 2006年3月

『高齢者の生活とリタイアメント・コミュニティ』(鹿住倫世 恩蔵三穂 長谷川万希子らと共著) 創成社 2006年12月

論文 (*は査読あり)

横田絵理・妹尾剛好・高田朝子・金子晋也「日本企業における予算管理の実態調査—予算編成に関する分析」『企業会計』Vol65 No.2 pp78-83 2013年2月

*高田朝子「情報のハブを利用した危機対応についての一考察—D社の事例をもとに—」『日本情報経営学会誌』日本情報経営学会 Vol32.N.2 pp39-48 2012年4月

高田朝子 「地域活性化のための有機的な女性管理職リーダーシップ訓練についての一試論」『地域イノベーション』 法政大学地域研究センター 2010年8月

横田絵理・高田朝子, 女性上級管理職と組織マネジメントシステムに関する研究: 実態調査の結果報告, 『三田商学研究』53(1), 2010,

*高田朝子 横田絵理 キャリア継続につながるネットワーク形成—女性医師についての調査からの一考察—, 『経営行動科学』査読有 23(1),2010,pp.15-26.

高田朝子「ミドル人脈の構造」ワークスレビュー2008, リクルートワークス研究所 2008年5月

*Asako Takada, Eri Yokota, “Organizational Culture and Emergency Response Actions: How Japanese Companies Behave?” Contemporary Management Research Pages 313-330, Vol. 3, No. 4, December 2007

高田朝子、横田絵理「日本企業の危機管理体制についての一考察—質問紙調査による検討」『2006年度 武蔵大学研究所紀要』P27-42 2007年6月

高田朝子「女性管理職のリーダーシップ育成についての一試案」『高千穂論叢』第41巻 4号 p1-14 2007年3月

*高田朝子「人材育成のための効果的観察学習—ハブパーソンを中心とした理論的枠組みの構築—」『経営情報学会誌』経営情報学会 Vol15, No4. P77-87 2007年3月

高田朝子「日本におけるリタイアメント・コミュニティの可能性についての一考察」『総合研究』高千穂大学総合研究所 No19 P5-13 2006年12月

高田朝子「団塊の世代の住空間に関する研究ノート—リタイアメント・コミュニティの実現可能性—」『総合研究』高千穂大学総合研究所 N.19 P5-13 2006年12月

*高田朝子「危機対応時における「情報のハブ」の有用性—聖路加国際病院の事例研究から—」『経営情報学会誌』経営情報学会 Vol.14, No.3 p47-62 2005年12月

ケース

高田朝子・加藤晋輔「レトワールジャパン株式会社—部下を辞めさせるということ—」慶応義塾大学大学院経営管理研究科ケース 90-11-5302 2011年5月

高田朝子・酒井瑠美「そのディスカッションに意味があるのですか?—MBA学生相馬みなみの憂鬱—」慶応義塾大学大学院経営管理研究科ケース 90-11-5301 2011年5月

中谷佳史・高田朝子「昭和生命保険株式会社と平成生命保険株式会社の企業合併—その後の現場から—」慶応義塾大学大学院経営管理研究科ケース 2010年5月

渡辺俊典・高田朝子「品川情報システム株式会社—ダイバーシティと現実—」慶應義塾大学ビジネス・スクール 90-10-05281 2010年5月

高田朝子・横田絵理「独立行政法人那覇市立病院」慶応義塾大学大学院経営管理研究科ケース 2009, 1-20

中原啓 高田朝子「昭和生命保険株式会社と平成生命保険株式会社の企業合併」慶応義塾大学大学院経営管理研究科ケース 2009年4月

高田朝子「ズットジャパン株式会社 田中陽子の昇進」慶応義塾大学大学院経営管理研究科ケース 2008年9月

柿原アツ子 高田朝子「成美工業株式会社の山送り」慶応義塾大学大学院経営管理研究科ケース 2008年8月

高田朝子「宇宙船α号 A」慶應義塾大学大学院経営管理研究科ケース 2007年6月

高田朝子「宇宙船α号 B」慶應義塾大学大学院経営管理研究科ケース 2007年6月

高田朝子「宇宙船α号 C」慶應義塾大学大学院経営管理研究科ケース 2007年6月

小林もとこ 高田朝子「グッドジョブサービス株式会社」慶應義塾大学大学院経営管理研究科ケース 2006年9月

学会発表

Asako Takada, Eri Yokota “The Development of a Network for female Physicians’ Career-sustainment” International Conference of Information Systems, JPAIS/JASMIN International Meeting 2009 J.W. Marriott Desert Ridge Resort, Phoenix AZ, December 15,2009

高田朝子(発表) 横田絵理「女性医師のキャリア形成と人的ネットワークについての一考察」経営情報学会 2008年秋期全国研究発表大会 2008年11月8日 東北大学

Asako Takada “A Crisis Responded Organization: Case of Response to the Sarin Subway Incident” The 7th International Conference on Knowledge, Culture and Change in Organization. Singapore Management University, Singapore. July 24, 2007

高田朝子(発表)、横田絵理、長谷川剛「電子カルテ導入後の病院組織における仕事の変容」経営情報学会 2007年 春期全国研究発表大会 2007年6月16日 横浜国立大学

高田朝子「電子カルテ導入後の組織ダイナミクス」経営情報学会 2006年 秋期全国研究発表大会 2006年11月12日 兵庫県立大学

Asako Takada, Eri Yokota “An Examination of the Risk Management System of Japanese Enterprises: Is Top-Down Response Almighty?” 11th International Conference, The International Emergency Management Society, Yarra Range, Melbourne, Australia. May 2004.

2. 社会活動

外部機関の委員

*経営情報学会 理事 ならびに学会誌編集委員

3. コンサルティング アドバイス業務

*SGSジャパン株式会社 経営諮問委員(2004年より現在)

4. その他

- ① 社会経済生産性本部 経営アカデミー講師（2006年より現在）
- ② 慶応義塾大学大学院経営管理研究科非常勤講師（2003年より現在）
- ③ 慶応丸の内シティキャンパス 講師（2002年より現在）